

同シリーズは、頻発する豪雨や豪雪などに起因する渋滞、車中で長時間滞在が必要な時でも安心して過ごせる商品として開



キーが入っており、アレルギー物質28品目不使用で、食物アレルギーを持つ人にも対応する。車載用防災ミニボックス一人用サイズ

全国のSM、ドラッグストアなどでリニューアル発売する。ユニフォームのカラー、ノンフライのキャップ

に本格的な当地ラーメンが楽しめる消費から好評を得ている。自宅にいながら手軽

ツブ。今回新たに「でらうま辛ダレ」を開発し、辛さだけでなく、病みつきになるうまさ

シリースの「こ当地」は、大阪府民に親しまれている。油かすから出る牛のうまみ

では、スープと具材を見直し、より芳醇な風味と、見た目の華やかさが楽しめる商品とした。

ユフシヨコララテ サントリー食品イン ターナショナルは「ク

を2Lから再限定発売する。同商品はクラフトホスこだわりのコーヒ

ギフモ やわらか食レシ。ピ公開 ニチレイの冷食を活用

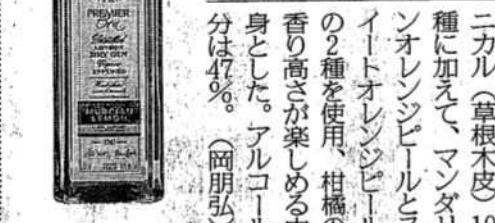
パナソニック社内のビジネスアイデアを事業化するために設立されたスタードアップ、ギフモ(京都府)は、市販の惣菜や手料理などを介護食や摂食・嚥下(えんげ)困難者向けに軟らかく調理できる調理家電「ニチレイ」を開発した。

加齢や病後、けがなどでかむ力・飲み込む力が低下してしまう患者が増えており、調理家電「ニチレイ」を開発した。キナーを使用して調理



かかすことが可能。庄力と水蒸気を利用した調理方法のため、形や味が多少は変化するものの、刻み食

サッポロビールは、プレミアムジン「ボンベイサファイア」ブランドから「同プレミアムクリュー」写真集を2



味付けオイルポケモンキャンベーン。日清オイログループは2月28日まで、期間限定発売中の「日清

レセントキャンベーンを実施している。味つけオイルとして展開する両シリーズの「ポケモンのデザイン

・ガリックバター風味・アジアンパクチー! 海老ラー油 各100g入り、BOSCOシリーズ

S F S S がリスクを解説

東京農業大学 第5回食品安全シンポジウム

食品安全を取り巻く環境は、食のニーズの多様化やグローバル化

の進展などを背景に激変している。先行き不透明な将来の変化に備えるべく、東京農業大学の総合研究所の安全と安心部会と食品安全研究センター(FS RC)は11月30日、第5回シンポジウム「食

鶴身と彦氏がそれぞれ解説した。S F S S の山崎氏は、リスクを適切に回避、管理する基盤として「リスクのトレード

え(GM)「非GM」あるいは「添加物あり」「無添加」といった表示の食品が店頭と並んでいたとして、たとえGMや添加物ありの方が健康リスクが大きいという科学的根拠が存在しなくても、一般消費者は直感的に「GM

感じてしまう傾向がある。ゲノム編集食品や残留農薬などのリスクも同様で、本来は「受け入れる/受け入れない」といった二者択一の議論ではなく、メリットとデメリットのバランスを客観的に考慮した上で科学的根拠に基づき議論がなされるべきである。一方

で、こうしたリスク認知バイアスの補正には、適切なリスクコミュニケーションも必要である。その際には、例えば、リスクが十分小さく無視できると評価した場合に「安全である」と明確に主張するなど、リスク情報を発信する側の姿勢も問われる。そこでS F S S で

は、食を取り巻く市民の具体的な不安要因に共感を示した上で、ポイントに学術的な説明を行う「スマート・リスク」という手法を開発・提案している。ただし「一人一人の価値観は異なるため、最終的な食品の選択は市民に委ねられる。そのため説得は

なく、あくまでリスクの理解を求める姿勢が重要」とも指摘している。FSRC(五十君静信センター長)は今年4月に東京農業大に新設された組織で、科学的根拠に基づき「食の安全の構築と安心の啓発などを目指して活動している。(立石直)

に、分析法開発者と独立したラボでの試験により分析法の性能を確認するので、OMA認証の最初のステップとして活用できる。参加費無料。問い合わせ先: AOACI 日本支部事務局(〒113-8502 Tokyo, Japan) 03-5482-1111 ext. 2022

お問い合わせ先: 日清オイログループ サポートセンター 0120-977-777

分析の先端情報共有

AOACI 日本支部 オンラインセミナー開催

AOACI インターナショナル(AOACI) 日本支部は26日、オンラインセミナーを開催する。

グループ本社)が22年8月26日(9月1日)に米国で開催されたAOACI 年次大会の概要について報告するほか、島津製作所の平尾美子氏と Shimadzu

アジアパシフィックの中嶋康介氏がAOACIの概念と取組事例、日本ハムの西山泰孝氏が本ハムの西山泰孝氏が器分析の認証に関する「R2プログラム」について、それぞれ解説

AOACI は Green Analytical Chemistry の略称で、分析従事者と環境に優しい分析法の開発に向けた概念である。超臨界流体CO₂は低粘度で高拡散性の物性により有機溶剤から置換することで、溶媒消費量を削減できることからAOACIの考えに則した分析法の一つと考えられている。

セミナーでは超臨界流体CO₂による分析法の実用性と、パーム油中のトリアシルグリセロールの分析法の最適化などを紹介する。R2プログラムは Smart and Recogin's の略称で、機器を使用した分析法を認証するためのプログラムである。

キットを対象としたPTMプログラム同様(立石直)

セミナーでは超臨界流体CO₂による分析法の実用性と、パーム油中のトリアシルグリセロールの分析法の最適化などを紹介する。R2プログラムは Smart and Recogin's の略称で、機器を使用した分析法を認証するためのプログラムである。

お問い合わせ先: 日清オイログループ サポートセンター 0120-977-777

ファベックス 物産展 商品募集中 エントリー 1月6日(金) 10時～15時